

朝 監 第 3 4 号  
平成 30 年 12 月 25 日

朝来市長 多 次 勝 昭 様  
朝来市議会議長 淵 本 稔 様

朝来市監査委員 山 下 司  
同 太 田 茂

平成 30 年度前期定期監査の結果報告について（提出）

地方自治法第 199 条第 4 項の規定により、平成 30 年度前期定期監査を実施したので、同条第 9 項の規定により監査の結果に関する報告書を提出します。

# 平成 30 年度前期定期監査報告書

## 第 1 監査の概要

### 1 監査の種類

地方自治法第 199 条第 4 項の規定に基づく定期監査

### 2 監査の対象

#### (1) 対象部局

生野支所地域振興課、山東支所地域振興課、朝来支所地域振興課  
市長公室秘書広報課、総合政策課、経済振興課  
総務部総務課、財務課、ケーブルテレビセンター

#### (2) 対象期間

平成 30 年 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

#### (3) 監査対象事項

市の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理に関して、以下の事項に主眼をおいて監査を行った。

ア 事業管理状況

イ 予算執行状況

ウ 収入事務、支出事務

エ 契約事務

オ 市単独補助金の交付状況

カ 負担金・分担金の徴収状況

キ 使用料・手数料等の滞納・収納状況

ク 施設の光熱水費の支出状況

ケ 行政財産、普通財産の使用許可状況

コ 施設、備品、現金、郵券等の管理状況

サ 職員の勤怠管理、公務旅行に関する事項

### 3 監査の期間

平成 30 年 10 月 15 日から 12 月 20 日まで

### 4 監査の方法

書類調査として、監査対象部局から提出された監査資料、勤怠管理及び公務旅行に関する帳簿類の内容を点検した。また、実地調査として、事務事業執行状況や職員の勤務状況等に関する聞き取り、契約関係書類の点検、現金及び物品の管理状況の点検、土地や施設の管理状況の実見を行った。

書類調査及び実地調査の後、監査対象部局との面談を実施し、事業の進捗やその経済性、効率性、有効性について、また、現在認識している課題

とその対応策について聴取した。

また、本報告書提出に先立ち、朝来市監査事務執行規程第6条に定める講評を実施した。

## 5 監査の着眼点

### (1) 財務事務に関すること

- ア 事務は関係法令等に基づいて適正に行われているか。
- イ 予算の執行は計画的かつ効率的に行われているか。
- ウ 契約の方法及び手続等は適切であるか。
- エ 補助事業や委託業務等の履行確認は適切に行われているか。
- オ 現金、郵券等の保管及び取扱いは適切か。
- カ 財産の管理・点検体制は確立され、有効に機能しているか。

### (2) 事業管理に関すること

- ア 事業は住民の福祉の増進に役立っているか。
- イ 事業は経済性、効率性、有効性を十分考慮されているか。
- ウ 職員の勤務状況は適正か。
- エ 業務の改善と効率化を図り、合理化に努めているか。
- オ 過去の指摘事項や監査意見に対する取組、改善がなされているか。

## 第2 監査の結果及び意見

### 1 総括

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、各部局の取組はおおむね適正であると認められる。しかしながら、事務手続等の一部において改善を要する事項が見受けられた。以下に意見を付してその状況を記載する。

#### (1) 補助事業の履行確認に関すること

一部の補助金交付事業において、補助対象事業の実績確認に際し、補助対象者が提出した書類の確認のみにとどまり、現地調査や支出証拠書類等の現物検査を一度も行っていない事例が見られた。補助金交付に関する規則や要綱において、これらの調査・検査を行う義務は課せられていないが、いずれも補助金交付の正当性や補助効果を検証する上で必要な措置である。補助事業の履行確認に際して現地調査や現物検査を行うよう努められたい。

#### (2) 職員の勤怠管理に関すること

就業週報・月報、タイムカード、出勤簿、休暇簿、週休日等の振替簿、時間外勤務命令簿を点検した結果、出退勤時刻の表示欠落、休暇取得手続の遺漏等、多くの不備・不整合事例を検出した。その多くは軽微なミスであるが、時間外勤務に係る不整合事例（時間外勤務命令簿記載の勤

務終了時刻よりも早い時刻に退勤打刻を行う。)が複数の部局にわたって散見されたことは憂慮すべきことと考える。不備の是正に向けて職員に対する指導・監督を徹底し、適正な勤怠管理の実施に努められたい。

(3) 物品の管理に関すること

備品台帳を基に備品の管理状況を点検した結果、台帳未整備、台帳外備品の保有、遊休備品の保有、数量の不一致、備品管理帳票未貼付等の不備・不整合事例を検出した。全庁的な問題として、現行の備品管理の在り方には改善が必要であると見られる。

公用車の管理はおおむね適切であると認められるが、一部において車内喫煙や車両使用簿の不記載等、不適切な事例を検出した。各部局の公用車管理状況を定期的に実見して指導を行う等、適正管理の徹底を図られたい。

2 部局別事業実施状況及び監査意見

監査対象部局の事務分掌、主要事務事業の実施状況、事業実施等に関する監査意見は次のとおりである。

なお、本文中の金額は千円単位で表記している。また、主要事務事業の実施状況、予算現額、支出済額及び予算執行率は、平成30年9月30日現在の状況を記載している。

(1) 生野支所地域振興課

ア 事務分掌

主に戸籍届出受付等の窓口業務、支所庁舎の管理、地域振興施策、生涯学習事業、生野書院の運営、生野財産区の運営等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 日本遺産活用事業

[予算現額 314 万 6 千円 支出済額 29 万 5 千円 予算執行率 9.4%]

日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」を核とした観光振興・地域活性化を目的として、各種の広報活動や特産品開発支援等に取り組んでいる。

② 黒川地域等活性化事業

[予算現額 83 万 6 千円 支出済額 0 円 執行率 0.0%]

黒川地域の活性化を目的として、黒川温泉やオオサンショウウオ等の観光資源を生かした事業実施を企画している。

ウ 監査意見

① 歴史観光施設の管理運営に関すること

指定管理者に管理運営を委任する生野まちづくり工房井筒屋、口銀谷銀山町ミュージアムセンター、旧生野鉱山職員宿舎について、

集客力及び収益力を高めることに配慮し、これに関する各施設の取組を積極的に支援されたい。

② 寺の上社宅群の活用に関すること

近代化産業遺産の構成遺産である「寺の上社宅群」は、貸与を受け改修整備がなされた後、十分活用されていないように見受けられる。施設の有効活用に向けて必要な措置を講じられたい。

③ 市有地（住宅用地）の管理に関すること

住宅用地として貸し付けている市有地の一部において、居住者のない家屋が存在し、土地使用料の納付も滞りがちとなっている事案がある。将来不法占拠等の事態が生じることのないよう適切な措置を講じられたい。

(2) 山東支所地域振興課

ア 事務分掌

主に戸籍届出受付等の窓口業務、支所庁舎の管理、地域振興施策、生涯学習事業、ヒメハナ公園の運営等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 出合いサポート事業

[予算現額 240 万円 支出済額 120 万円 予算執行率 50.0%]

少子化対策、定住促進等を目的として、よふど温泉を拠点に未婚男女の交流事業（婚活イベント）に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 出合いサポート事業に関すること

着実に実績を積み重ね、成果を収めていることを評価したい。一方で、イベント参加者の固定化が懸案となっている。事業の一層の充実と発展に向けて、多様な参加者を集めるよう工夫されたい。

② ヒメハナ公園の管理運営に関すること

ヒメハナ公園の設備について、維持管理、安全管理、衛生管理に特段の注意を払うよう求めたい。とりわけ、老朽化した屋外トイレは速やかに改修することが望ましいと思われる。この公園が快適で魅力ある施設であり続けるよう、適時適切なメンテナンスに努められたい。

③ 山東庁舎の利活用に関すること

山東庁舎には利用頻度の低い事務室が多数存在し、庁舎の有効活用が課題となっている。山東生涯学習センターの機能移転に関する検討と歩調を合わせ、現有施設を有効に活用する方途を検討されたい。

(3) 朝来支所地域振興課

ア 事務分掌

主に戸籍届出受付等の窓口業務、支所庁舎の管理、地域振興施策、生涯学習事業、中川財産区の運営等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 花づくり運動推進事業

[予算現額 185 万円 支出済額 63 万 8 千円 予算執行率 34.5%]

花づくりによる魅力的なまちづくりを目的として、花苗・花木の提供や美しい景観づくりの支援に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 花づくり運動推進事業に関すること

継続して事業に取り組んでいるが、事業協力者の減少や高齢化等の課題を抱えており、将来展望は不透明である。これまでの取組を見直し、事業の立て直しを図られたい。花づくり運動推進重点地域の設定や観光振興施策との連動等、これまでの取組の枠を超えた事業展開を期待する。

② 神子畑地域の観光振興に関すること

観光交流課との連携の下、神子畑選鉱場跡を核とする神子畑地域の観光振興に注力されたい。現在、神子畑地域の観光は一部の愛好家から強く支持されているように見受けられるが、これにとどまらず幅広い層から支持を得られるよう、地域の魅力を高める取組を進められたい。

③ 市営新井駅前駐車場の管理に関すること

市営新井駅前駐車場の管理業務を民間団体に委託し、駐車料金の集金、保管、送致業務を行わせているが、契約上、当該駐車料金の取扱いに関する手続・ルール of 明文規定はなく、料金管理は透明性を欠くと言わざるを得ない。現在、この業務の契約事務は総合政策課が担当しているが、朝来支所地域振興課は当該駐車場管理の所管課として、不備の是正に中心的役割を果たされたい。

(4) 市長公室 秘書広報課

ア 事務分掌

主に秘書、叙勲・表彰、国際交流、広報・広聴、ふるさと寄附金等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① ふるさと寄附金事業

[予算現額 3 億 7,996 万 7 千円 支出済額 2,792 万 2 千円 予算執行率 7.3%]

財源の獲得、市特産品の PR、地域経済の活性化等を目的として、

ふるさと寄附金の受付、返礼品の発送等に取り組んでいる。

4月から9月までの間の寄附金額は8,430万円であり、前年同期間の寄附金額(6,821万6千円)に比べて1,608万4千円(23.6%)増加している。

#### ウ 監査意見

##### ① ふるさと寄附金に関すること

寄附金受付の利便性向上や返礼品の充実等により、寄附金額は年々増加している。寄附の増加に寄与した一連の取組と実績を評価したい。一方で、昨今ふるさと納税制度における返礼の在り方が問題視されていることを踏まえ、本市における取組が制度本来の趣旨を逸脱することのないよう特段の注意を払われたい。

#### (5) 市長公室 総合政策課

##### ア 事務分掌

主に市行政施策の企画及び総合調整、総合計画、行財政改革、行政評価、交通政策、地域振興・地域づくり施策、地方創生の推進、定住・移住施策等に関する業務を担当している。

##### イ 主要事務事業の実施状況等

##### ① 地域協働推進事業

[予算現額2,490万8千円 支出済額980万3千円 予算執行率39.4%]

市民が主体となった市民自治のまちづくり、自立した地域自治の運営を目的として、主に地域おこし協力隊員の任用、活動支援等に取り組んでいる。

##### ② 行政マネジメント推進事業

[予算現額910万1千円 支出済額80万3千円 予算執行率8.8%]

計画的な自治体経営の推進を目的として、総合計画の進行管理、行政評価、行財政改革の推進、公共施設再配置の推進等に取り組んでいる。

##### ③ シティプロモーション推進事業

[予算現額75万6千円 支出済額2万1千円 予算執行率2.8%]

定住人口・交流人口の拡大、シビックプライドの醸成等を目的として、市の魅力の発信、魅力ある人材や情報が集まる拠点づくりに取り組んでいる。

##### ④ 朝来市創生推進人財育成プロジェクト事業

[予算現額2,189万円 支出済額439万円 予算執行率20.1%]

まちと関わりを持ちながら生き生きと輝き、活動する「ASAGOiNGな人」を育み、魅力あるまちの未来につなげることを目的として、中高生と地域がつながる場づくり、若者の社会参加の促進、若者の起業支援等に取り組んでいる。

⑤ 生野鉦山＋明治 150 年推進事業

[予算現額 380 万円 支出済額 39 万 7 千円 予算執行率 10.4%]

「明治 150 年」を契機に、生野鉦山の存在意義を市民自身が再認識し、我がまちの誇りにつなげることを目的として、記念フォーラムの開催等に取り組んでいる。

⑥ 定住促進事業

[予算現額 6,391 万円 支出済額 435 万 5 千円 予算執行率 6.8%]

定住促進、人口減少の抑制を目的として、定住・移住情報の発信、若者世代を対象とした遠距離通勤助成や住宅支援、空き家改修助成等に取り組んでいる。

⑦ 路線バス等生活交通利用促進事業

[予算現額 2,785 万 3 千円 支出済額 3 万 6 千円 予算執行率 0.1%]

路線バスとアコバスによる公共交通の維持・確保を目的として、バスの運行調整・運行評価、「あこか」の販売、「あこか」利用による路線バスへの減収補てん等に取り組んでいる。

⑧ 住みたい田舎移住促進プロジェクト事業

[予算現額 1,551 万 9 千円 支出済額 243 万 7 千円 予算執行率 15.7%]

移住の促進を目的として、移住フェア等への出展、移住体験会の開催、空き家バンク事業、移住起業者支援等に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① シティプロモーション推進事業に関すること

シティプロモーション推進の目的の一つとして、市民のシビックプライドの醸成を掲げているが、この事業に対する市民の理解は十分でないように見受けられる。市民に対する情報発信の在り方を見直し、事業の周知・浸透に努められたい。

② 朝来市創生推進人財育成プロジェクト事業に関すること

まち全体を学びの場ととらえ、主に社会活動を通じた子ども・若者の成長支援、人材育成等に取り組んでいるが、当該事業と社会教育事業との相違点や協力関係が判然としない。社会教育事業担当部局との意思疎通を深め、事業をより効率的・効果的に進めるよう努められたい。

③ 行政評価に関すること

鋭意取組を進めている行政評価について、一層の充実を期待する。事業成果をよりの確に検証・評価できるよう、事業評価の基礎資料「行政マネジメント事務事業シート」の様式の在り方を点検して改良を重ねられたい。

④ 交通政策に関すること

公共交通政策の推進に当たっては、利用者の立場に最大限配慮することが求められる。利用者のニーズに応える公共交通を志向し、



利便性の向上に注力するよう努められたい。

⑤ 地域おこし協力隊員の任用条件に関すること

数年来、地域おこし協力隊員に対して時間外勤務手当を支給しない処置をとっているが、これは任用条件通知に合致しない処置であると見られる。速やかに是正措置を講じられたい。

(6) 市長公室 経済振興課

ア 事務分掌

主に経済振興施策の企画及び調整、商工業の振興、労働及び雇用対策、企業誘致、起業支援等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 雇用推進事業

[予算現額 601 万 9 千円 支出済額 211 万 6 千円 予算執行率 35.2%]

就業に臨む学生等のU I J ターンの促進を目的として、ジョブサポあさごの運営、合同企業説明会の開催、就活サポートブックの作成、市内高校生に対する市内企業の紹介等に取り組んでいる。

② 奨学金返還応援企業支援事業

[予算現額 100 万円 支出済額 0 円 予算執行率 0.0%]

市内企業の人材確保及び若年者の地元就職・定着の促進を目的として、従業員の奨学金返済負担軽減制度を設ける市内企業に対して補助金を交付する事業である。

③ 地域産業創出支援事業

[予算現額 1,146 万 3 千円 支出済額 362 万 3 千円 予算執行率 31.6%]

内発型事業の展開による地域産業の創出と振興、雇用の確保を目的として、あさご元気産業創生センターを運営し、起業の相談や地域産業に関する情報発信等に取り組んでいる。

④ 企業誘致促進事業

[予算現額 382 万 2 千円 支出済額 79 万 2 千円 予算執行率 20.7%]

雇用の創出、地域経済の活性化を目的として、企業訪問やイベント出展等の企業誘致活動に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① あさご元気産業創生センターの活動に関すること

地域産業の創出と振興、雇用の確保に向けて活動しているが、十分な成果を収めるには至っていないように見受けられる。現行の取組の有効性を真摯に検証し、改善を図り、センター設置の目的にかなう成果を上げるよう努められたい。

② 奨励金の交付効果に関すること

朝来市企業誘致及び雇用促進条例に規定する企業立地促進奨励金、固定資産税相当額奨励金及び雇用促進奨励金について、奨励措置の

改定から6年が経過したことを踏まえ、当該奨励金が地域産業の振興や企業業績、雇用促進等にどの程度寄与しているか、交付の効果を検証されたい。

③ 企業進出用地に関すること

企業誘致に取り組み成果を収めているところであるが、更なる企業進出の受入れに備え、進出企業に供する用地をあらかじめ確保しておくことが望ましいと考える。市有地以外の土地も含めて好適地の選定を検討されたい。

(7) 総務部 総務課

ア 事務分掌

主に市議会の招集・連絡調整、条例等の審査・制定・改廃、文書管理、人事労務管理、情報公開、選挙等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 職員研修事業

[予算現額692万6千円 支出済額314万4千円 予算執行率45.4%]

時勢や住民ニーズに適切に対応できる職員の育成、行政に対する市民満足度の向上を目的として、市独自研修の企画・実施、他機関が主催する研修への職員派遣等に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 人事評価に関すること

人事評価制度の運用に当たっては、人事評価が職員の勤労意欲向上と組織の活性化に寄与するものとなるよう配意されたい。現行の評価方式の下で生じた職員の変化について検証し、評価方式の点検と改良を重ねるよう図られたい。

② 臨時・非常勤職員の任用に関すること

地方公務員法の改正により、臨時・非常勤職員の任用の在り方が改まる。現行の職員配置状況及び財政状況を踏まえた上で、法改正の趣旨に沿った適正な任用に向けて準備を進められたい。

③ 職員の勤怠管理に関すること

本報告書2ページに記載するとおり、職員の勤怠管理に関する不備・不整合事例が広範囲にわたって散見される。総務課は職員の勤怠管理を統制する部局として、不備の是正に向けて指導的役割を果たされたい。

(8) 総務部 財務課

ア 事務分掌

主に財政計画及び資金計画、予算の編成・配当・執行管理、公有財産の総括管理、入札、情報施策の企画・推進、公共施設の建設・営繕

等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① 庁舎内情報ネットワーク管理事業

[予算現額2,743万5千円 支出済額1,530万円 予算執行率55.8%]  
行政サービスの維持向上や情報セキュリティの確保等を目的として、主に庁舎内情報ネットワークシステムの運用・管理等に取り組んでいる。

② 公立豊岡病院組合特別負担金

[予算現額2億3,100万円 支出済額8,400万円 予算執行率36.4%]  
和田山医療センター跡地の環境整備工事に係る特別負担金。主な工事内容は、医師集合住宅及び付属車庫を除く建物解体工事、解体後の環境整備工事、立入防止柵の設置である。

ウ 監査意見

① 入札制度の在り方に関すること

最低制限価格を設けた競争入札において、入札参加者の過半が最低制限価格に満たない額で応札して失格となる事例が見られるほか、最低制限価格と同額の応札になり、くじによって落札者を決定する事例が多く見られる。より良い入札制度の在り方を検討し、入札の競争性を高めるよう図られたい。

② 市有財産の利活用に関すること

市有の遊休地や未利用財産の利活用に取り組むことを求めたい。市有財産の利用状況を精査し、貸借あるいは売却による処分を含め、遊休財産の減少を図るよう努められたい。

③ 物品の管理に関すること

本報告書3ページに記載するとおり、物品の管理に関する不備事例が広範囲にわたって散見される。財務課は市の物品管理を統制する部局として、不備の是正に向けて指導的役割を果たされたい。

(9) 総務部 ケーブルテレビセンター

ア 事務分掌

自主放送番組の企画・制作、放送・通信、局舎・伝送路の維持管理等に関する業務を担当している。

イ 主要事務事業の実施状況等

① ケーブルテレビ運営管理事業

[予算現額1億3,166万8千円 支出済額4,050万2千円 予算執行率30.8%]

公共サービス情報や地域情報の発信等を目的として、自主放送番組の制作・放送や音声告知放送、施設の維持管理等に取り組んでいる。

② ケーブルテレビ施設整備事業

[予算現額 1 億 2,576 万 8 千円 支出済額 581 万円 予算執行率 4.6%]

ケーブルテレビサービスの安定供給、難視聴対策、情報格差の是正を目的として、放送設備や機器の更新工事等に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 設備機器の更新に関すること

今後、高額な設備機器の更新が予定されている。テレビ放送に係る技術革新の動向を注視しながら、設備機器の適時適切なメンテナンス及び計画的な更新を行うよう努められたい。